



建設労働組合による奉仕活動

「住宅デー」で修繕ボランティア・6/26

No.6

全国統一「住宅デー」である6月25日を中心に、全国各地で建設労働組合による技術奉仕活動が行われました。

市内では6月26日、広島県建設労働組合第12地域連合庄原の皆さんが、保育所や子育て支援施設、保健福祉センターなどの施設修繕を実施しました。

庄原地域では、高保育所で建具や屋外水道管の凍結防止資材の補修、田川子育て支援センターで壁や床の修繕などが行われました。

地域の子どもたちや高齢者が快適かつ安全に過ごせる環境が整い、同連合庄原の皆さんの温かいご協力に対し、各施設から感謝の言葉が寄せられました。



▲技術奉仕活動をした皆さん

笑顔と絆で曇天を吹き飛ばす

口和体育祭・6/21

No.5

口和総合運動公園で「口和体育祭」が8年ぶりに開催され、口和地域の住民約400人が各種競技に参加しました。

開催にあたり、「より多くの人に気軽に参加していただける体育祭」をキャッチフレーズに、地域対抗の見直しや、防災をテーマとしたクイズを導入するなど、新たな取り組みに挑戦しました。

当日は曇り空でしたが、会場は終始、笑顔と温かい声援に包まれ、曇天を感じさせない活気に満ち溢れました。口和へ帰省した人も含め、子どもから高齢者まで世代を超えて交流を深める場となり、「来年も参加したい」との声が多く寄せられました。



▲100人が参加したリレー

命の尊さを学ぶ

高野中学校思春期講座 命の学習・7/1

No.2

市の助産師と保健師が講師となり、命の尊さを学ぶ「命の学習」が高野中学校で開催され、3年生が参加しました。

この事業は市内全域で実施されているもので、参加した生徒は、妊娠・出産や性に関する講義に加え、妊婦体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験などを通じて、自身が大切に育てられてきた過程を想像し、命の尊さや他者への思いやりの大切さを改めて実感していました。

参加した中学生は「すごい確率で生まれてくる命、奇跡だと感じた。他人も自分も大切にしよう」と改めて感じた」と話しました。



▲人形を使って赤ちゃんの抱き方を体験

比和地域のたなばたまつり

比和まるごと家族「たなばたまつり」・7/7

No.1

比和自治振興センターで比和まるごと家族「たなばたまつり」が開催され、約200人が参加しました。

このイベントは、比和地域の子どもから大人まで、家族のようにつながりを持ち、支え合うことを目的とした交流の場として開催されています。

当日は、比和保育所の園児や比和小学校の児童たちによる歌や踊り、比和中学校の生徒による企画発表、その他にもギターの弾き語りや、体操、ダンスなどが披露され、会場はにぎわいました。

参加者は「子どもたちや出演者の皆さんのおかげでとても盛り上がったお祭りになった。来年もまたみんなで盛り上げていきたい」と話しました。



▲比和保育所の園児たちによる歌と踊り

ピンクリボン活動を推進！

乳がん自己検診モデルの体験・6/4

No.8

プレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 東城実行委員会では、若い世代の女性に乳がん早期発見を啓発するため、東城町内の保育施設などで乳がん触診モデル体験コーナーを設けました。

田森保育所で体験した保護者からは、「乳がんがどんなものか、セルフチェックの仕方なども全く分からなかったのが、いい経験になった」「触診することで身近に感じる事ができた」などの感想が寄せられました。

東城実行委員会の近藤久子会長は、「若い世代の乳がん罹患率も高いため、このような機会を設けることができてよかった。今後も引き続き、啓発活動を続けていきたい」と話しました。



▲触診モデルを体験する保護者

粟田小学校で遺品の移転供養

神龍湖殉難事故遺品の移転供養・5/31

No.7

5月25日に粟田小学校で、神龍湖殉難事故の遺品移転に伴う供養が行われました。

この事故は、昭和9年に国定公園・帝釈峡の神龍湖で遊覧船が転覆し、当時の粟田尋常高等小学校の児童と教諭ら計14人が亡くなった悲しい出来事です。

これまで遺品などは、同校で大切に保管されてきましたが、令和7年3月をもって休校となったことから、今後は田森自治振興センターへ移転し、保管されることとなりました。

供養には地域住民や遺族らも参列し、参加者は「決して忘れてはいけない地域の出来事。その意思をこれからもつないでいってほしい」と語りました。



▲遺品の移転供養

行方不明者の発見に貢献

「広島ワンパト隊」隊員犬に感謝状贈呈・6/16

No.4

庄原警察署で、行方不明者の発見に貢献した「広島ワンパト隊」隊員犬に感謝状贈呈式が行われました。

「ワンパト隊」とは、犬の散歩をしながら、見守り活動を行い、「地域の安全は地域で守る」という防犯意識の醸成を図るとともに、持続可能な自主防犯活動を推進するボランティア団体のことです。

飼主の穂田香織さんは、散歩中、空き家前に数日前から同一車両が停まっていることを不審に思い、警察に通報、行方不明者の発見、保護に貢献しました。

贈呈式後、穂田さんは「小さな社会貢献につながるいいなと思い、ワンパト隊へ応募した。これからも、犬のランちゃんと共に散歩に励みたい」と話しました。



▲感謝状を受け取ったランちゃん

思い出のまなびやガーデン

庄原さとやまオープンガーデンの公開

No.3

八鉾自治振興区女性部による庄原さとやまオープンガーデン「思い出のまなびやガーデン」が、5月25日～6月16日まで八鉾自治振興センターで公開されました。

本年度5年目を迎えたこの取り組みに対し、女性部の長尾和子さんは「フジバカマやメランポジュームなど、多くの花を見て心癒やされてほしい」と話しました。

期間中は、花壇いっぱいの花々を目当てに地域内外から多くの人々が訪れ、来場者からは「新緑に包まれた校舎と、庭に咲き誇る花のマッチングが素晴らしい」といった感動の声が聞かれました。



▲花を植える女性部の皆さん